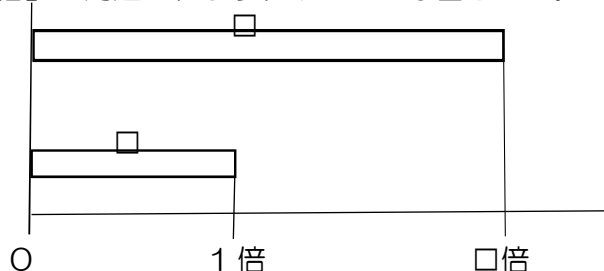


○割合（倍）の問題を解くには

1. 動作化で考える。
2. 倍の数直線図をかく。

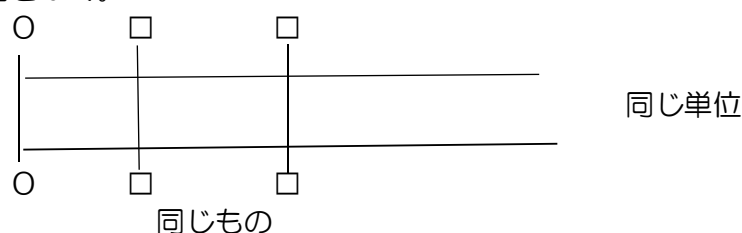
①「倍」の問題は、まず、下のような図をかく。



②□の中に数値を当てはめていく。

③図を見て立式する。

3. 数直線図をかく。

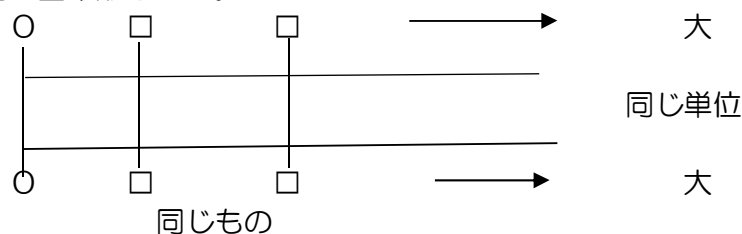


※どちらにしてももとにする量（1 倍分）が何かを見つけることが、問題を解くカギになる。

○数直線図のかき方

①問題文を読んで、乗除の問題であることを確認する。（本当は、比例の問題）

②数直線図の基本形をかく。



③4 か所を決めそのうちの3 か所を埋める。（単位を忘れない）

④埋められなかった1 か所に向かって矢印をかく。

⑤縦か横の関係を使って乗除の関係で問題を解く。（乗除の演算決定ができる）

4. 指導にあたって

①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。

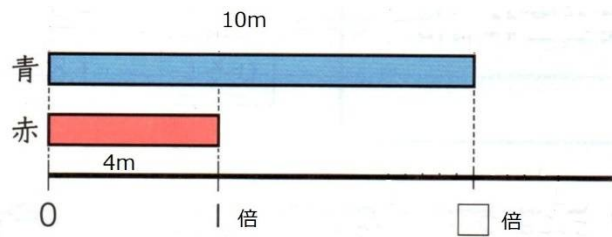
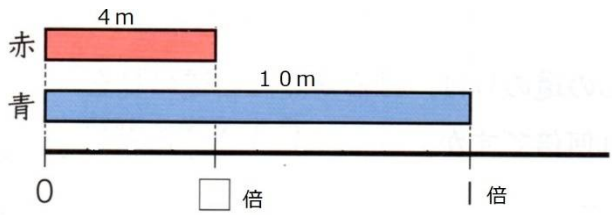
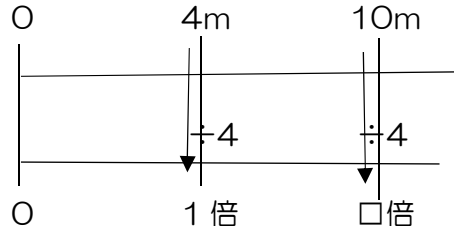
②それを通してどんな子どもに育てたいか。

5. 学習展開

第1時

学習のめあて（作業・知る・考える）

〇倍概念の小数への拡張 倍の数直線図を数直線図に発展させる。（P64/65）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>（導入）P64</p> <ul style="list-style-type: none"> 比較についての説明。 <p>1. 問題把握</p> <p>赤（4m）青（10m）黄（5m）のリボンがあります。</p> <p>①青のリボンの長さは、赤のリボンの長さの何倍ですか。</p> <p>②赤のリボンの長さは、青のリボンの長さの何倍ですか。</p> <p>③黄のリボンの長さは、赤のリボンの長さの何倍ですか。</p> <p>④赤のリボンの長さは、黄のリボンの長さの何倍ですか。</p> <p>倍の数直線図をつかって式と答えを出しましょう。</p>	
<p>2. 自力解決・学びあい</p> <p>①</p>  <div data-bbox="869 862 1292 1030" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> $10 \div 4 = 2.5$ 2.5 倍 小数になるときも倍という。 </div> <p>②</p>  <div data-bbox="869 1131 1292 1355" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> $4 \div 10 = 0.4$ 0.4 倍 もとにする量（1と考える量）が、比べる量より小さいときも「倍」をつかう。 </div> <p>③④も同様にする。</p> <p>〇C は、倍の数直線図をかいて式と答えをかく。</p> <p>T は、答え合わせのときに説明を加える。</p>	
<p>3. まとめ・ふりかえり</p> <p>T: 赤と青を重ねて、かくと数直線図になります。</p> <p>これから、倍の問題やかけ算わり算の問題は、数直線図をつかって立式するとまちがえません。</p>  <div data-bbox="734 1680 1197 1758" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ②③④についても数直線図でかく。 このときに、かき方の説明をする。 </div>	

第2時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○数直線図をつかって問題を解こう。（P66）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動

知識・理解・資料・評価・留意点 他

1. 問題把握

2

右の表は、はるかさんたちの家から駅までの道のりを表しています。
はるかさんの道のりをもとにすると、ほかの人の道のりは、それぞれ何倍ですか。

家から駅までの道のり

名前	道のり (km)
はるか	2.4
ゆうた	4.8
ゆみ	3.6
ひろし	1.8

T:数直線図をかいて解きます。（数直線図）



T:このように「1 と考える量」が同じ場合は、「横の関係」でなく「たての関係」を使って解くと簡単に解けます。

「はるか」をみると、「÷2.4」となります。

だから、他の人の場合も「÷2.4」で求めることができます。

ひろし・ゆみ・ゆうたの場合を求めましょう。

2. 自力解決・学びあい

○ひろし： $1.8 \div 2.4 = 0.75$ 0.75 倍

ゆみ： $3.6 \div 2.4 = 1.5$ 1.5 倍

ゆうた： $4.8 \div 2.4 = 2$ 2 倍

※答え合わせ。

T:このように、数直線図では、たての関係か横の関係の使いやすいほうを使って問題をつくることができます。

3. まとめ・ふりかえり

1. 倍の問題は、数直線図をつかって解くことができる。

2. 立式は、たての関係か横の関係で使いやすい方を使って解けばよい。

※数直線図の使い方については、教科書のやり方と少し変えています。

どこをどう変えているかを確かめて、指導しやすい使い方を指導しましょう。

第3時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○数直線図をつかって問題を解こう。（P67）

○展開は、第2時と同じ。

数直線図をかくところから自力解決すればよい。

○たての関係で解く。 ×5

第4時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○数直線図をつかって問題を解こう。（P68）

○横の関係で解く。 $\div 1.8$

OP68  個別指導

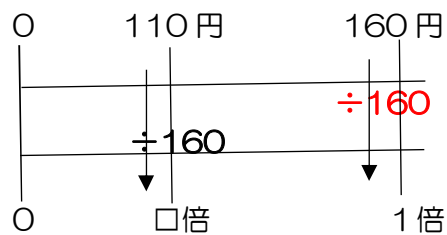
第5時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○倍（割合）による比較の問題（P69）

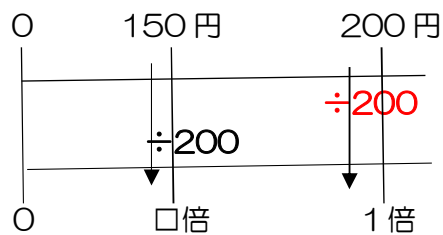
○2つの数直線図をかいて、問題を解く。

おにぎり



$$110 \div 160 = 0.6875$$

ハンバーガー



$$150 \div 200 = 0.75$$

こたえ おにぎりの方が安くなったといえる